

4 養成塾を終えて（北海道推薦枠参加者レポート）

川口 粹和 さん

（北海道登別明日中等教育学校1年）

最も印象に残ったことは何ですか？

私が養成塾で1番印象に残っていることは最高の仲間たちとのハイスクール国会です。ハイスクール国会は養成塾が始まった次の日から約2週間かけて行うプロジェクトでした。まだお互いのことを知らないうちに20年後の未来を見据えて本気で討論し合いました。私たち4組は中間発表の時に唯一可決ができた班でした。本気で挑んできたからこそ本当に嬉しかったです。最終発表に向けて、もっと本気で討論していくとぶつかることも多くなっていきました。しかし、それでも諦めずに朝の点呼の前にみんなで集まって準備をしたり、夜も就寝時間ぎりぎりまで話し合っていました。しかし最終発表では否決となってしまいました。今まで生きてきた中でこんなにも本気で討論をして本気で何かをしたことがなかったので悔しくて悔しくて涙が止まりませんでした。結果は否決になってしまいましたが、最高の仲間たちと一生の宝を見つけることが出来たのかなと思いました。

最も感銘を受けた講義について教えてください

私は数多くの講義を受けた中で1番印象に残っている講義は、日本次世代リーダー養成塾の事務局長である加藤暁子さんの講義です。そもそも「リーダー」とはなんなのかについて教えていただきました。” Warm Heart Cool Head”心はあたたかく、頭は常に冷静であれ。この言葉はリーダー塾が始まったばかりの私含め多くの塾生に良い影響を与えたと思います。また、私はずっと英語に対して苦手意識があり、勉強しても勉強しても伸び悩んでいました。そこで英語と興味のあるものを結びつけるといいと教えていただき、英語の勉強が苦ではなくなりました。加藤さんの講義を2日目の最初に受けるこ

とができたおかげでこの2週間はより濃いものになりました。

アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか？

同じ日本なのに北海道と九州は全然違うということに驚きました。もちろん方言もそうですが、昔ながらの遊びや学校の行事など色んな地域の違いや特徴を比べ合うのが楽しかったです。また北海道は凄いなだと再認識しました。北海道から来ましたと言うと、北海道って美味しいものが沢山あるでしょ！とか北海道へスノボしに行くよなど声をかけていただけることが多かったです。

養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきたいですか？

まずは自分の周りの人たちを幸せにしたいと思っています。家族や友人、お世話になった方々へ恩返しをしたいと思います。養成塾で思いやることについて沢山考えました。世界に飛びたって世界中の人を幸せにするのにはどうしたらいいのか。それは一人一人が周りの人を大切にしあわせにするとところから始まるのではないのかと私は考えました。初めて本気で悩んで本気で討論したこの2週間。ここで培った力を糧に日々努力して生きていきたいと思っています。

養成塾での様々な経験を踏まえて自分の地元を見つめ直したとき、北海道や地域の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか？

もっと北海道についてよく知ってもらうことが重要だと思います。今回、同じ日本でも地域が違うだけで知らないことが沢山ありました。また北海道はとても広いです。道民の中でも北海道の隠れた魅力を知らない人が多くいると思います。まずは何事も知ってもらうことが大切です。北海道と言えば雪や海鮮、だけではなく地域ごとの魅力をもっと発信することが必要だと感じています。

養成塾に参加したことでできた、
将来の夢や今後の目標を教えてください。

私は将来、誰かのために生きる人になりたいです。職業は何であれ、誰かのために誰かを想って生きたいです。また、もっと自分のことを好きになることが今の目標です。何でもかんでも中途半端にするところや片付けが苦手なところなどを直し、未来の自分が誇れるような、恥じない自分になりたいです。私の人生のモットーは笑顔を絶やさずピンチをチャンスに！です。この言葉を胸に毎日必死に生きていきます。

川口さんについて

学校の先生から

もともと、生徒会で活動していた生徒なので、行動力や責任感など備わっている生徒でした。大人しい生徒でリーダーというより、リーダーをサポートする仕事のほうが、適性として合っていると感じる人物です。しかし、今回の参加を通してリーダーの視点で物事をみることができる視野を身につけられたのではないかと思います。

日沼 心希 さん

(北星学園女子高等学校3年)

最も印象に残ったことは何ですか？

私の最も印象に残ったことは、ハイスクール国会というプロジェクトです。ハイスクール国会とは、実際に日本で行われている国会を高校生一人一人が議員になったつもりで日本をよりよくする政策を2週間で創り出すものです。様々な地域から参加しているため、気候差や起こりやすい災害の違いがありました。だからこそ地球温暖化と結び付けて考え10年後、20年後の変化の予想を立て政策を考えました。議論のなかで、停滞してしまったり自分の意見の出し方をふりかえってみたり、仲間とも自分とも見つめ合えるとてもいい機会でした。

最も感銘を受けた講義について教えてください

沢山のご講義を受けさせて頂いた中で最も感銘を受けたものは、加藤暁子先生のご講義です。リーダーに必要な能力、また人として大切な精神を教えてくださいました。

ご講義の中で、自分に何が欠けていてこれからどうすべきなのか考える機会を頂き、とても納得させられるお話でした。特に、先を見通し明るい青写真を描く能力では、常に先に何が起こるのかを見極めて、決断をして、実行をしなければならぬという求められてくる能力の幅広さを実感したと共に奮い立たされました。

アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか？

まず最初に感じたのは、皆が自分の地域、国を愛しているということです。

また、日本をより良くしたいという思いが強く利点と欠点を明確にしていました。

ただ考えるだけではなく自分が行動するんだという心意気を近くで感じとても影響を受けました。また、フィンランドからの参加者と交流して、自国の政治体制や政策について深く理解をしていてとても興味深い会話を重ねることが出来ました。次世代リーダー養成塾に参加すると、世界の見方が大きく広がり2週間以上の知識を得ることが出来ました。

養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきたいですか？

参加した瞬間から、またどのような仕事に就いてもリーダー能力は求められると思います。沢山の幅広い講義を受け、得た知識がまとめられている自分の魔法のようなノートを見返すとまた参加中の気持ちを蘇らせることが出来ます。どのような逆境に立たされてもめげずに自分の能力を磨き上げて成功させるという2週間の経験を生かして自分自身を成長させていきたいと思います。私は将来医療従事者として社会に貢献したいと考えています。緊張感に包まれた医療の現場の中でも常に希望を持ち、教えてくださいましたことを時には振り返り定着させながら向上心を持って頑張っていきます。

養成塾での様々な経験を踏まえて自分の地元を見つめ直したとき、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか？

私は、次世代リーダー養成塾に参加し更に北海道の魅力に気づきました。

自然、食、観光など全てが詰まった大きな土地を私は、もっとたくさんの人に知って欲しいです。また、観光地として人気な北海道だからこそ語学の面白さを広め観光業を伸ばすことができたら更に賑わった北海道になると考えています。近年問題視されている少子高齢化、過疎化による人手不足については、しっかりとした対策また、一人一人の若者が自覚を持って向き合っていかなければいけないと思います。病院の閉院も多く見られ、高齢者の方のための公共交通機関や雇用制度を高くしていくと北海道全体が明るくなるのではないかと考えます。

養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

私のひとつ成し遂げたいことは加藤暁子先生に教えて頂いた Warm Heart Cool Head を持ち続けることです。

そのために人生という舞台の中で鍛錬を積みよりよいリーダーとして、また1人の人間としてこの能力を発揮できるよう努めています。また、私は医療従事者を目指しています。日本の医療は、世界と比べて進んでいるものの勤務環境は未だ酷と言われています。少子高齢化が進行する中、患者さんも医療従事者も整えられた環境の中で生活できるような社会をつくるのが私の目標です。

日沼さんについて

保護者の方から

2週間という短い期間ではありますが、日本全国、世界各国からの仲間との交流、一流の講師陣の講義、グループディスカッション、野外活動等、全てがどんな状況でも仲間と一緒に協力して経験できたことが楽しかったようです。又、今後の人生の目標を見つけるきっかけになったことと思います。

日沼さんについて

学校の先生から

日沼さんはこのリーダー塾が実施されるまで、将来の目標に漠然とした期待を抱いていましたが、実施後は明確に大学進学への意志、または将来の職業について発言できるようになったと思います。看護の道へ進む予定の日沼さんですが、今回の塾での学びが、その職種での視野をより広げられるようになり、現在は国際医療に携わりたいと考えています。自身の明確な気持ちを表現できるようになったのも、この養成塾でのさまざまな出会いや刺激があったからだと思います。どうもお世話になり、ありがとうございました。

山岡 奏香 さん

(北星学園女子高等学校3年)

最も印象に残ったことは何ですか？

クラスの仲がどんどん深まっていったことです。初日は、皆緊張していて、お互いどんな人なのかわからなく静かな雰囲気のクラスでした。しかし、1日が経つごとに、色々な人と話す機会が増え、1週間もすると笑いが絶えないクラスになっていきました。そんな中でもハイスクールの国会は皆真剣に取り組み、白熱した議論が繰り広げられていました。最終日には別れが辛く、涙するぐらいの仲間に出会えました。

最も感銘を受けた講義について教えてください

国境なき医師団事務局長の村田慎二郎さんの講義です。病院閉鎖の決断を迫られたとき、他の人からの信頼に押しつぶされそうになりながらも冷静に判断し、その結果成功したというお話がとても心に残りました。周りからの信頼が厚い分、大変なこともあるけれど、それ以上にみんなに慕われているのだなというのがとても伝わってきました。また、国境なき医師団の活動を途中でやめようと思ったことがあったが、と

ある男性に「みんなの希望だからやめないで。」と言われたのをきっかけに続けると決めたという覚悟の強さを見習いたいと思いました。

アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか？

全国各地からの高校生からはたくさんの刺激を吸収できました。まだ高校1年生なのに、将来の夢が決まっていたり、自分でゲームをつくっていたり、本当に同じ高校生なの?!と疑ってしまうような人に出会えました。また、AFSの留学生との交流では、実際に英語を使って話すことで自分の英語力を確かめることができ、良い機会となりました。高校では英語科に所属していて、英語を使う授業が多いので、授業で学んだことを活かしてよかったです。留学から帰ってきて1年が経ちますが、その時よりもスラスラと話せて、自信がつかしました。

養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきたいですか？

リーダー塾に参加していなければ、やりたいことが明確になっていなかったし、志望大学だって決まっていませんでした。やりたいことが見つかった今、その夢の実現に向けて学ぶことを継続していきたいです。また、リーダー塾中のクラスの担任から「話し合いの進め方」について教えていただきました。クラス内の話し合いで自分が進めることもありますが、知らないことばかりでとても学べるが多かったです。大学でプレゼンをするときに役立ちそうなので、活用していきたいです。

養成塾での様々な経験を踏まえて自分の地元を見つめ直したとき、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか？

リーダー塾中にクラスの子と北海道について話したとき、北海道は広すぎてあまり知られていませんでした。例えば、札幌市は全員知っていますが、空港のある千歳市については名前すらも知られていませんでした。今は、SNSが普及している時代なので、北海道内各地の季節ごとの風景や食べ物などをSNSで発信し、たくさんの

人に北海道の良さを広めることが必要だと思います。また、既にありますがふるさと納税をもっと活用すべきだと思います。

養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

リーダー塾での経験を通して、私は日本がさらに好きになりました。そして、日本のことを海外にもっと伝えたい、また、恵まれない子どもたちにも日本語を教えたいという夢ができました。私は、学校で学ぶ教科の中で英語が1番得意です。そして、人と対話することが大好きです。これらの長所を活かし、この夢の実現のために大学では国際教育について学び、教員免許を取得し、さらに在学中に日本語パートナーズの一員となって活動していきたいです。また、教育水準が高い北欧へ留学し、日本では学べないようなことを学んだり、現地の人と教育の質について語り合いたいです。将来は、日本でも海外でも活躍できる教員を目指します。そして最終的には、NPOのようなボランティア団体を通し、恵まれない国の人々や日本語を学びたいと思う外国人に英語を利用して教えるという活動をしていきたいです。

山岡さんについて

保護者の方から

リーダー塾に参加してから、やりたいことが明確になり行きたい大学を見つけることができました。普段の学校生活では教わらないような、人生で役に立つことを学べたようで、2週間の間で自立したように感じました。また、大切な仲間にも出会うことができ、受験勉強に励みながらも、時々友達と電話をしている様子を見て微笑ましく思います。

学校の先生から

リーダー塾参加前には、自分の将来について悩んでいた様子だった。参加後には、自分が将来取り組みたいことについて明確な未来像が出来上がってきたようである。進学後、教育を通して、世界の問題を解決してみたいと希望を持つようになった。未知の世界に飛び込んでみようという勇気は、リーダー養成塾に参加したか